

月刊 JMITU ティンカ



7月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2019年発行

No.415

何だろう??

世の中全体のギスギス感とストレス社会

最近ニュースでよく報道される社会問題、高齢者ドライバー、異常気象、不適切動画 SNSへのアップ、子供への虐待、40代の引きこもり問題、あおり運転、悪質クレーム、所得格差、ブラック企業、年金制度の崩壊、パワハラやセクハラなどのハラスメント問題、報道はされていないが、毎日のように起こる電車の人身事故、毎年約2万人の自殺者、職場の人手不足と色々な私達の生活のなかで問題が起きています。

インターネットが普及し、人の顔を見ることなく、自分の身分もさらさず匿名でなんでも意見が言えるようになり、言い争いが堪えない、小さなアラを見つけては、弱い者いじめがヒートアップする。職場や家庭でのストレスが溜まっているのか、将来の不安でか、とにかくちよつとした事でイライラする人やキレル人が増えた気がする。「労働安全衛生法」が改正されて、労働者が50人以上いる事業所では、2015年12月から、毎年1回、「ストレスチェック」検査を全ての労働者に対して実施することが義務付けられました。

目的は、労働者が自分のストレスの状態を知ること、ストレスをためすぎないように対処したり、ストレスが高い状態の場合は医師の面接を受けて助言をもらったり、会社側に仕事の軽減などの措置を実施してもらったり、職場の改善につなげたりすること、**「うつ」**などのメンタルヘルス不調を未然に防止する為、このようなテストをするほど現在の世の中はストレスが溜まる社会になってしまっている。

あなた達の職場はギスギスしていないですか?ある調査によると仕事におけるストレスの第一位は「職場での人間関係」で2人に1人が職場の人間関係にストレスを抱えているようです。職場では、雇用形態の格差、人事評価、昇格できない不満があるなか、みんな協力し合い、助け合える職場はどれくらいあるのだろうか。仕事の失敗は自己責任、余裕がないので自分さえ良ければいいという人達が増えてゆき、お互いが足の引っ張り合いになってきている。どこことなく他人行儀で質問や依頼がしにくいという雰囲気、相談やミスを打ち明けることができない。このような職場になってしまふと業務が円滑に進まなくなりません。

働き方改革で、正社員についての待遇は変わってきていますが、そこで働くアルバイトや派遣の方には、なんら変化がありません。雇用形態の格差や人事評価制度問題を解決していかなくては、真の働き方改革になりません。

安倍内閣「日雇い派遣」解禁

格差・貧困拡大に無反省

労働者の使い捨てになるため原則禁止の「日雇い派遣」について、安倍内閣が参院選後に拡大・解禁を狙っています。

低賃金の不安定雇用を拡大する動きに対し働く者として断固ノーの声を上げましょう。30日以内の短期派遣（日雇い派遣）は、究極の低賃金・不安定雇用の為、ネットカフェなどで寝泊まりするなど社会問題となり、2012年から原則禁止されました。例外的に、年収500万円以上ある人の副業か、ソフトウェア開発など一部の業務に限って認めています。

しかし、派遣業界は、年収要件の拡大など全面解禁を求めてきました。

財界人らで構成する規制改革推進会議が6月、「低所得者の若い世代にとって派遣による副業が閉ざされている」などとして年収要件の見直しを答申。



安倍内閣が閣議決定した規制改革実施計画（6月21日）に盛り込まれ、同25日の労働政策審議会の部会で議論が始まりました。

福祉施設などの看護師でも日雇い派遣を解禁するよう実態調査が盛り込まれました。

不安定で劣悪な労働復活

日雇い派遣は、派遣労働の中でもとりわけ無権利なものです。日雇い派遣規制は「派遣切り」に対する労働者・労働組合のたたかいでつくられました。その拡大解禁は、不安定雇用の拡大・貧困拡大にいつそう拍車をかけることとなります。

若者が使い捨てで働かされれば技術の伝承も困難、安定し

た収入を得られず年金・健康保険料が払えず社会保障、税收確保の面からも大きな問題です。

自分は正規雇用だから派遣のことは関係ないやと無関心でいしないで目を向けましょう。明日は我が身です。

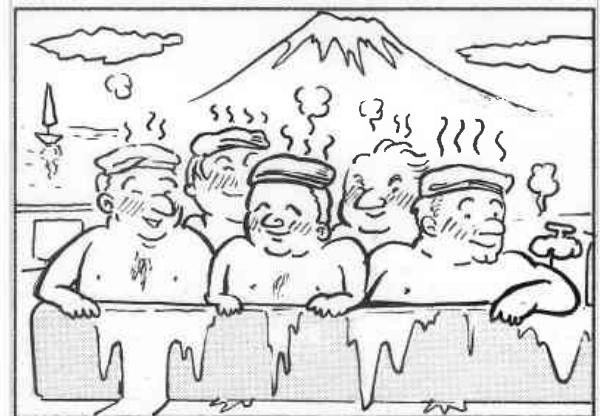
知らず知らずのうち私たち労働者の権利を守っている法律がどんどん労働者の権利を無くされてしまいます。



4こま漫画

川崎よしき





ショートショート

変な日

仙洞田一彦

見方である。

木の種類に疎いわたしは、その木が何の木なのか分からない。高さは二階建ての屋根の高さくらいまである。根が広く広がっている。根は半分以上に出ている、幹を中心にぐるりと広がっている。根が地下の事情で下に伸ばせないから、半分地上に見せるようにして広がっているのかどうかは分からない。

新宿に芝居を見に行った日のことだった。でも新宿にそのものに意味はない。蒸し暑い日だったので、駅までバスで行くことにした。家からバス停に行く途中に公園がある。公園で木を見ている男がいた。公園で木を見上げている人がいたって、珍しいことではない。問題はその

胸には造園業者の名前が入っていたり、近くに止まっているトラックに造園業者名が入っていたりする。

その男は幹ばかりでなく、地上に見えている根も、たたいたり、擦ったりしていた。しかし、その木はどこでも見かけるような木で、わたしには、特に珍しいもののようには見えなかった。

その男は、かなりの年、とは言ってもわたしより少し下に見えるが、幹を掌でたたいたり、押したりしながら木の周りを回っていた。視線を下にしなからだから、観察しているのだろうと思われる。その男が公園の管理者のよ

うな作業服を着ていけば、別に変にも思わない。作業服の

暇なのか、趣味なのか、造園業をやっていたのか、などとその男の様子を見ながら思っていた。

見ているうちに何か話し掛けたくなるようなしぐさだったが、もし変な人だったら、うっかり聞いて怒鳴られたりしたら大変だから黙って通り過ぎた。

バス停には五、六人が並んでいた。バスが来た。順番に乗った。わたしの前の人が、この人もかなりの年の男、よ

うするに爺さんだったが、スイカの料金不足の表示が出た。前の人は財布を出してよく中を見ていた。金がないのか、小銭だけを選ぼうとしているのか分からないが、もたもたしていた。もたもたしているも次のわたしは待っているし

かない。わたしは待っているしかないと思ったのだが、わたしの後ろに並んでいた、少し若い婆さんが運転手に声を掛けた。

「先に入っていいですか」
片手にはスイカを出して見せている。

運転手はむっとした顔を向けた。先に入ったところで、前の爺さんが金を出してチャ

ージといふのか、金を補充しなければバスは進まないのだから、先にバスの中に入ったところで仕方ないだろうとわたしは思った。

少し若い婆さんは運転手の顔を見て、さすがにうしろから手を出し、センサーにかざすことはしなかった。が、スイカを持った手がイライラと動いているのが見えた。

バスが終点の蒲田駅前に着いた。ドアが開くとすぐ飛び出して行った。しかし、歩道が赤信号になったので止まった。止まるのが当たり前だが、そんなに急いでいるのなら車が来ていないのだから渡ればいい。わたしは、その少し若い婆さんが急いでいるのか、たんにせっかちなのか分からなくなった。

品川で山手線に乗り換えた。次の駅で、前後の電車の関係で数分止まった。窓から向こうのホームが見えた。向こうのホームにも反対方向に向かう山手線が止まっていた。先頭車両のそばに、黒くて四角い鞆を持っている電車の運転手と思われる男が立っていた。交替して降りたばかりの様子だ。

かなりの年の婆さんだが、止まっている山手線の車両を指差して、その運転手に何か話している。

運転手は鞆をホーム上に置き、脇に挟んだ分厚い手帳を開いて、調べてその婆さんに何か説明している。運転手は、わたしの乗っている電車を指している。

会話は聞こえないが、仕草

から想像すると、こんな会話だろう。

婆さん「〇〇に行きたいですが、この電車がいいですか」
運転手は調べてから「あっちの山手線ですね」

おそらくそんな感じの会話だろう。しかし見ていると、その婆さんは、また自分の目の前の車両を指している。運転手はふたたび、わたしの方の車両を指した。

運転手に聞いておきながら、婆さんがこっちの電車だと固執しているようだ。それなら始めから運転手に聞かないで乗って行けばいいのだ。運転手の意見を聞かない婆さんだったが、しぶしぶホームを渡る階段の方に歩いて行った。劇場に着いた。早めに出て来たので、余裕で着いた。申

し込みが遅かったので、後ろの方だった。大分席が埋まって来た。開演も近くなった。その時、ずっと前の舞台に近い席で婆さん同士が何か話している。先に座っていた婆さんが席を立ち、後から来た婆さんがその席に腰掛けた。立った婆さんはずっと後ろに、わたしの近い方に歩いて来て、席に腰掛けた。

何か変な動きだ。後ろに移動して来た婆さんは、自分の指定席が後ろだから、あわよくば前の席で見ようとしたのか。座った席の客が来なければ、前に座れてもうけもんだ。そう考えると、動きの説明ができる。ずうずうしい。

誤解のないように申し上げるが、婆さんたちに敵意を持っているわけではない。

人手不足

職場で人手不足と感じることが多々あります。人手不足は少子化の影響が大きい34歳以下の若年層です。大企業は若手確保に成功しています。中小企業では雇用しても離職率が高いなどで人手不足が進んでいます。業種でも違いが大きく、運輸業、建設業、サービス業、医療福祉関係、宿泊飲食業などが人手不足の影響が大きいとされています。しかも、人手不足でも賃金低下の状態は変わらず、リストラ合理化で工場閉鎖や統廃合、事業所などの海外移転で国内空洞化など、電機、自動車、金融など多くの業種で大量人員整理が行われています。

その犠牲になっているのは、年配層の労働者や派遣など非正規労働者です。その再就職は容易でなく、働く条件低下が避けられません。人手不足と雇用不安が混在する状況です。そもそも人手不足は、少子・高齢化による人口減、労働力減が要因です。しかし、少子・高齢化は、財界・大企業と政府がグローバル化のなかで、国際競争力強化のコスト削減策を強行した結果です。若者が結婚し、家庭を持ち、子育てのできる人間らしい生活と労働を保証し、それを可能にする賃金・労働条件の実現により、少子化の進行を抑えることができます。そして、将来の労働力も確保できます。

労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ（パワハラ）をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU（日本金属製造情報通信労働組合）は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>